
ポケモン不思議のダンジョン～絆～

ヒカル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケモン不思議のダンジョン〜絆〜

【Nコード】

N7145J

【作者名】

ヒカル

【あらすじ】

突然エネコになった人間である
サクと、臆病なりオルのリユウガの
世界を救うための探険が今始まる！

エピソード0 エネコとリオル

「はぁ、やっぱりダメだ。」

ここはポケモンだけが住む世界。

人間の存在は既に伝説となっていた。

そんな世界の片隅で1匹のリオルが落ち込んでいた。

「今日こそは探険隊プクリンの

ギルドに弟子入りしようと思っていたのにー

はぁ、どうしよう（泣）

勇気がでないや。」

ハアとため息をついても何にもならず、

結局リオルは行きつけの海岸に

ふらふらと向かった。

「わぁ、綺麗だな！

やっぱりここはいつもすごいや。」

そこは蟹ポケモンのクラブの泡に

夕陽が当たって七色に輝いていた。

「んっ？何だあれ？」

そのとき、リオルは波打ち際にピンク色の
何かが転がっているのを見た。

「・・・あっ！ポケモンだ！

ポケモンが倒れている!!」

リオルは急いでピンクのポケモンのもとに
かけて行った。

「だっ大丈夫？」

ねえ、しっかりして!!」

「うつ・・・うん。」

そのポケモンは目をさましたのか
のろのろと立ち上がった。

「良かった、気が付いたんだね。」

「？あなただれ？」

・・・今、私と喋らなかった？

どういう事？私、人間なのに。」

「につ人間?！」

きつ君はどこからどう見てもエネコだよ?。」

そう言いながらリオルはエネコに
水面を見るよううながした。

「えっ・・・うつ嘘?！」

私、本当にポケモンになってる!。」

エピソード1 宝物と悪者（前書き）

遅れてしまいましたー！
すみませんでした。

リュウガ「何で遅れてしまったのですか？」

サク「大人には色々あるのよね。ふふっ。」

いやまだ学生だし。

リュウガ「もしかして、僕の事子供扱いしてない？」

エピソード1 宝物と悪者

（どういうこと？ 何でポケモンになってるの・・・）

「あの、すみません。大丈夫ですか？」

（そして、ここは何処なんだろう・・・
何も憶えていない。）

「ねえ、大丈夫？」

（でも・・・エネコというチョイスはいいかも）

「ねえ！大丈夫ですか？」

「わっ？ きつ君は、誰？」

「ここは何処なの？」

「ほんとに君、大丈夫？」

「・・・まさか僕の事騙そうとしてる？」

「いついや、そんなつもりは！」

「本当にありませんから？ねっ信じてよ。」

「うん。でも君の事見た事ないしな。」

そんな会話が繰り返られる中、2つの黒い影が近づいていたが、

(どうすれば信じてもらえるだろう？
・・・こうなったら～)

悪どい事を考えていた。

「どうしたの？ 何か怖い顔してるけど？」

そう言った瞬間サクはリュウガに飛びかかった！
怯んだリュウガは倒されてしまう。

「えっ？ なっ何？ どうしたの？」

「ふふふ、くらえ～！」

そう言うとサクは、リュウガの脇を
かる～く(本人曰く)引っ掻いた。

「なっ！・・・あははははは！」

やめてやめて、くすぐりたいよ！」

思ったより効いた。サクは何故か心の中で
ガッツポーズ。

すると、暴れたせいかリュウガは何かを落とした。

「ん？ 何これ？」

その瞬間、今まで近づいて来た2つの影が
それを盗んだ。

「ケケケ、ちよろいもんだぜ！」

ドガースとズバットが現れた！

「あっそれは、僕の大事な物・・・」

「「ケツそれなら高く売れそうだな。」

どうした？ 取り返しにこいよ。」

うぐっ、とリュウガは頷いた。
顔を背けている。

「ん？ どうした。まさか怖いのか？
はははっ、とんだ腰抜けだな。」

そう言うと、ドガースたちはあざ笑いながら
洞窟へ消えていった。

「うつつ僕の宝物が・・・。」

「取り返しにこい！ あいつら倒して。」

落ち込むリュウガにサクが言った。

エピソード1 宝物と悪者（後書き）

リュウガ「取り返せるかな？」

サク「それは・・・神のみぞ知る。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7145j/>

ポケモン不思議のダンジョン～絆～

2011年10月6日14時15分発行